

わくわく

10月号

本だな

1 2 3 年



E 『ロケット発射場の一日』

はっしやじょう

いわた慎二郎／作・絵 講談社

みなさんはロケットがどのようにできるか知っていますか？いくつかにわけてつくり、船や車ではこぼれてから組み立てられます。組み立てのようすや、そうちのなかをのぞいてみましょう。

えほん

E 『お船がかえる日 チョプラン漂流記』

ふね

ひょうりゅうき

小林豊／文・絵 岩波書店

江戸時代、日本の船があらしにあい、台湾へながされてしまいました。船はこわれ、日本へかえることができません。

船にのっていた市松は、みようみまねでチョプラン村ではたらくことになります。

えほん



K913 『ようかい先生とぼくのひみつ』

山野辺一記／作 細川貂々／絵 金の星社

ケイタは始業式の朝、家にわでつばさのあるバケモノを見ました。かぞくや友だちに話しますが、だれもしんじてくれません。ところがつぎの日、たんにんのテンテン先生のせなかにバケモノとおなじつばさがはえているのを見えます。

ものがたり

K489 『サルってさいこう！』

オーウェン・デイビー／作 越智典子／訳

中川尚史／日本語版監修 偕成社

サルは、すむ場所にあわせてすがたをかえてきました。いま地球には、260 しゅるいをこえる個性ゆたかなサルがいます。

たとえば、いちばんかけっこが早いサルやいちばん声の大きいサルたちを、カラフルなイラストでたしかめてみましょう。

ちしきのほん



としょかんのまどぐちには、くみたてると本になる「わくわく本だな」もあるよ。

ホームページもみてね！〈編集・発行〉富山市立図書館 富山市西町5番1号 電話 076-461-3200

わ く わ く

10月号

本 だ な

4 5 6 年



物語

K913 『リンちゃんとおネネコさん』

森山京／作 野見山響子／絵 講談社

リンちゃんは公園へと急いでいました。ふと前を見ると、知らないおばあさんも走っています。横をすりぬけたとたん、おばあさんは「負けてたまるか！」と追いかけてきました。

おしばいのシナリオを考えていたリンちゃんは、このおばあさんにそっくりの主人公がかつやくするおはなしを思いつきます。

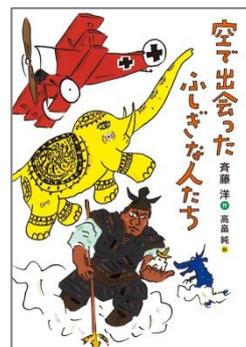
K913 『空で出会ったふしぎな人たち』

齊藤洋／作 高島純／絵 偕成社

空には、ぐちゃぐちゃになっていてなんだかわからないものでいっぱいのカオスという場所があります。わたしの仕事は、空飛ぶマットに乗ってカオスを見回ることです。

ある日、カオスから牛とギリシャ人が飛び出してきました。その男はわたしの魔法瓶をほしがり、かわりにあるものを置いていきました。

物語



ちしきの本



K289 『Mr. トルネード 航空事故を激減させた』

ミスター 気象学者 藤田哲也 佐々木健一／著 小学館

今から30年ほど前まで、飛行機は1年半に1度謎の墜落事故を起こす危険な乗り物でした。事故の謎を解明し飛行機を安全な乗り物にしたのは、藤田哲也という日本人研究者です。

藤田さんは、事故の原因が強い力をもつ風ではないかと考えました。そして「ダウンバースト」というはげしい気流を発見します。

図書館のまどぐちには、くみだてると本になる「わくわく本だな」もあるよ。

ホームページもみてね！〈編集・発行〉富山市立図書館 富山市西町5番1号 電話 076-461-3200